

6

一人ひとりが
環境について考え
行動するまちづくり

I 環境の現況

本市では、環境教育・環境学習の機会を提供するため、しゅうなん出前トークや社会教育施設である大田原自然の家、動物園、公民館活動等の中で、さまざまな講座や体験イベントなどを開催しています。

学校においても、教科書等における環境教育だけでなく、地域との連携の中で地域の特色に応じた環境学習が行われています。

また、環境教育・環境学習の基盤整備として、その指導者確保の観点から山口県に登録されている環境アドバイザー等の人材情報を市ホームページで発信しています。

環境配慮行動の推進として、生ごみ処理器・コンポスト容器等への助成による普及促進、市民節電所及び環境美化活動である地域一斉清掃や環境清掃里親制度登録団体等へのゴミ袋の支給等により支援しています。

環境美化意識浸透のために、「周南市空き缶等のポイ捨て禁止条例」を改正し、「周南市空き缶等のポイ捨てその他の迷惑行為禁止条例」として平成23年7月に施行しました。これは、美観を害する行為等（ポイ捨て、飼い犬のふんの放置、落書き、歩きながらの喫煙）はしてはいけないということを、私たち一人ひとりが再認識し、社会的ルールとして定着させ、市民、事業者及び市が協働して、きれいで快適なまちづくりを進めています。

1. 環境アドバイザー等の登録数

山口県は地域で行われる環境に関する学習会、講演会等を利用した環境に対する体験学習、工作教室等に対し、「環境アドバイザー(講演型環境学習指導者)」または「環境パートナー(体験型環境学習指導者)」の派遣制度を設けています。

また、環境省のエコクラブ事業に基づき、こどもエコクラブに対し、運営面及び実践活動について指導及び助言を行う「こどもエコクラブアドバイザー」を派遣しています。

■周南市在住の環境ボランティア（平成26年度）

環境アドバイザー	3人
環境パートナー	7人
こどもエコクラブアドバイザー	3人
地球温暖化防止活動推進員	5人

http://eco.pref.yamaguchi.jp/learning/manabu/ap_search.htm#kadviser

2. 環境関連の団体数及び人数

(1) こどもエコクラブの団体数及び人数

こどもエコクラブは、環境省へ申請登録すると、子ども達が楽しみながら、環境保全活動や学習が行える資料配布等の支援を受けることができる制度です。

平成26年度における登録数は1団体、15人です。

■こどもエコクラブの登録数及び人数

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
登録数 (団体)	3	1	1	1	1
人 数 (人)	135	33	23	20	15

(2)環境清掃里親制度登録団体数及び人数

ゴミの散乱がないきれいなまちづくりは、快適な生活環境を守るうえで、非常に重要です。「周南」のイメージを形成する点においても、まちの清潔度は、大きな比重を占めるものです。環境清掃里親制度は、道路や公園を「子ども」に見立て、市民の皆さんに親代わりになっていただき、我が子へ注ぐ愛情と同様に、公共施設のお世話をさせていただくもので、市民の皆さまと市が一体となった環境美化活動を強力に推進し、ボランティア団体・グループの活性化を目的としています。

市はゴミ袋の支給、収集ごみの回収、清掃美化活動中のケガなどに適用される保険（見舞金）の手続き、ボランティア団体及びグループ名を記した表示板の設置、広報活動を担当しています。今後も引き続き、市民と行政が連携して、清掃美化活動を推進します。

■登録数及び人数

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
登録数 (団体)	64	67	69	60	58
人 数 (人)	1,961	2,052	2,002	1,634	1,547

※平成 24 年度まではクリーンネットワーク事業

●周南市環境基本計画における目標

項 目	達成状況 (平成 26 年度)	目 標 (平成 26 年度)
クリーンネットワーク 登録団体数	58 団体	100 団体

3. 環境関連イベントの開催

市では、ホテル観賞、農業体験、星空観察、清掃活動、地産地消推進事業、リサイクルなどの各種環境関連のイベントを実施しています。

■環境関連イベント

開催日	名称／内容	関係課
通 年	TOKUYAMA ZOO CLASS	動物園
通 年	大田原自然の家のイベント	大田原自然の家
通 年	豊鹿里パークのイベント	鹿野総合支所 産業土木課
4月～10月 全9回	星空観望会（月・金星・火星・木星・土星・天王星・天の川・季節の星座などの観察）	鹿野公民館
4月5日	城下町徳山の桜のトンネルを歩こう！	観光交流課
4月5～6日	花☆ワイン～周南まんま市場～	観光交流課
4月5日～ 5月6日	第4回大道理芝桜まつり	生涯学習課 （大道理公民館）
4月6日	瀬戸内海国立公園太華山春爛漫ハイキング/富田地区の史跡めぐりと永源山公園のオランダ風車と桜探訪ウォーク	観光交流課
4月7日	弾正糸桜と山野草めぐり	観光交流課
4月12日	桜の高瀬湖クリーンウォーク	新南陽総合支所 地域政策課
5月3～5日	永源山公園つつじ祭り	公園花とみどり課
5月9日	鹿野・石楠花めぐり	観光交流課
5月11日	榎浜干潟フェスティバル（干潟にいる生物の観察会）	榎浜公民館
5月18日	堀川いかだ乗り大会（堀川を自作のいかだでくだる）	榎浜公民館
6月	水道週間「水の教室」（飲み水ができるまでの工程及び使用後の下水処理の工程を通じて、水循環の輪の中に私たちの生活が深く関わっていることを学習）	上下水道局
6月1日	西緑地公園樹木観察会（西緑地公園の樹木見本林や万葉の森での観察会）	公園花とみどり課
6月7日	トワイライトフェスティバル（ホテルの観賞、ホテルかご作りなど）	和田公民館
6月13日	鹿野・紫陽花めぐり	観光交流課
6月13～14日	ホテル観賞のタベ（ライブショー、ハワイアンバンドの演奏、バザーなど）	生涯学習課 （大道理公民館）
6月14日	長穂ほたる祭り（ホテルのくす玉割り、バザーなど）	長穂公民館
6月14日	ほたるのタベコンサート（ホテルの観賞、各種団体の生演奏など）	鹿野総合支所 産業土木課
6月21日	大潮ほたる祭り（ホテル観賞、バザーなど）	鹿野総合支所 産業土木課
6月22日	京都大学フィールド科教育研究センター・周南市連携講座（第7回）（森林環境の抗議、徳山試験地の見学）	公園花とみどり課
7月27日	大潮夏の体験学習	鹿野・大潮地区 （大潮の里をまもる会等）

《6 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり》

開催日	名称／内容	関係課
7月30日	森と湖に親しむ集い（水辺の教室や魚の放流など）	新南陽総合支所 地域政策課
7月31日	夏休み親子水辺の教室（水中生物の観察・調査、やまめのつかみ取り、バーベキュー、美化活動）	教育委員会熊毛総合出張所 熊毛総合支所市民福祉課
8月1日	第28回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会 名水サミット in 周南	環境政策課
8月3日	太華山サイクリング大会（太華山周辺をサイクリングする）	榎浜公民館
8月8日	第5回周南市エコフェスタ（①竹水鉄砲工作②竹笛・バードコール作り③バックヤードツアー、自転車の展示販売（リユース品）、パッカー車・あき缶プレスカー展示、中古家具などの無料抽選会、ペガサス紹介ビデオ上映）	リサイクル推進課
10月4日	ツルのねぐら整備ボランティア（ナベツルのねぐらと餌場の整備）	生涯学習課
10月11日 19日	まちと森と水の交流会	農林課
10月19日	京都大学フィールド科教育研究センター・周南市連携公開講座（末武川流域での自然観察・体験学習）	公園花とみどり課
10月22日	永源山公園「ゆめ風車」チューリップ満開作戦（チューリップの球根を植えてもらうイベント）	公園花とみどり課
10月27日	周南こどもゆめまつり in 熊毛	熊毛総合支所 地域政策課
11月3日	しゃくなげ植樹祭	鹿野総合支所 産業土木課
11月8～9日	ルーラル 315・376 フェスタ（沿線の朝市や催し物を結ぶ地域イベントで市内の会場で農山村漁村の女性たちが中心となって朝市やイベント、体験コーナーを開催）	農林課
11月5日	長野山と漢陽寺の紅葉散策	観光交流課
11月15日	瀬戸内海国立公園太華山晩秋ウォーク	観光交流課
11月22日	紅葉の高瀬湖クリーンウォーク	新南陽総合支所 地域政策課
11月24日	京都大学フィールド科教育研究センター・周南市連携講座（第8回）（森林環境の講義、徳山試験地の見学）	公園花とみどり課
11月24日	くまげツルの里ウォーク大会	教育委員会 熊毛出張所
11月29日	秋の瀬戸内海を歩く大津島ウォーキングコース	観光交流課
12月1日	大津島ポテト健康マラソン	文化スポーツ課
平成27年 1月31日	第6回周南市エコフェスタ（①廃木材で本立て②染色パルプで絵を紙すき③草木染体験とプレスレット工作、自転車の展示販売（リユース品）、リユース品抽選会、パッカー車・あき缶プレスカー展示、ペガサス紹介ビデオ上映）	リサイクル推進課
3月12日	ごみ処理施設見学バスツアー（家庭ごみのゆくえを見学する日帰りバスツアー）	リサイクル推進課

4. 周南市環境マネジメントシステム

【経緯】

周南市では、環境に配慮したまちづくりを推進するために、平成18年度から環境マネジメントシステム（EMS）に取組み、平成24年度からは周南市独自のEMSを運用開始しました。

平成18年 7月	キックオフ宣言 周南市EMSの構築
平成19年 4月	周南市EMSの運用開始
5月	環境方針の改正
8月	環境内部監査 事前審査
10月	マネジメントレビュー 登録審査
12月	ISO14001認証取得
平成22年12月	ISO14001認証更新
平成23年12月	ISO14001認証返上
平成24年 4月	周南市独自のEMS運用開始

【周南市独自のEMS見直しの目的】

これまでのシステムを基本としながらも、ISO14001の規定にとらわれず、市の事務事業における環境への負荷を低減するための行動をより効果的なものとするためのシステムとします。

【周南市環境方針】

環境方針とは、環境問題にどのように取り組んでいくかについて、市長の理念・方針を定めたものです。EMSの環境目標設定や実際の活動は、環境方針に基づいて行います。

環境方針は、職員はもとより、市民や事業者のみなさんにも広く知っていただくため、「周南市環境方針」の全文を次に掲載します。

周南市環境方針

1 基本理念

周南市は、北に中国山地から連なる緑の田園地帯、南に瀬戸内の青い海を有する自然豊かなまちです。市内の八代地区では、本州唯一のナベヅルの渡来地として、古くから鶴の保護活動が続けられており、自然保護の先駆的な歴史も持っています。

また、臨海部には、全国有数の石油化学コンビナートを中心とした工業地帯が広がり、本市の産業経済を支えるとともに、技術開発等により、環境保全・環境への負荷の低減に努めてきました。

こうした地理的・歴史的背景から、「周南市環境基本計画」では、本市の目指す環境像を「豊かな自然をはぐくみ 未来へはばたくまち 周南 ～自然の恩恵を将来の世代とわかちあうために～」とし、市民、事業者と連携・協力しながら、豊かな自然と産業の振興が両立した「ふるさと周南」を、次の世代に受け継いでまいります。

2 基本方針

(1) 地球温暖化防止対策への取組

「周南市役所エコ・オフィス実践プラン」などに基づいて、省エネルギー、ごみの減量化・再資源化などを推進し、市の業務により発生する温室効果ガスの削減に努めます。

(2) 法令等の遵守

環境法令や環境に関する協定等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

(3) 危機管理の徹底

事故等による重大な環境汚染を防止するため、事故対応マニュアルを作成し危機管理を徹底します。

(4) 業務の継続的な見直し

環境負荷の低減を図るため、環境マネジメントシステムを用いて、業務の継続的な見直しを行います。

(5) 職員の意識向上

市職員を対象とした研修等を実施し、環境に関する意識の向上と実行力を高めます。

平成23年6月20日

周南市長 木村 健一郎

Ⅱ 基本施策の実施状況

1 環境教育・環境学習の推進

目標：環境教育・環境学習の基盤整備を進め、あらゆる場における学習機会の拡充を推進します。

(1) 環境教育・環境学習の拡充

① しゅうなん出前トーク

市民の市政に対する理解を深めていただくため、市職員が直接、市民の皆さまの所へお伺いし、市の施策や事業について説明するとともに、意見交換を行うものです。平成26年度は環境関連のテーマで12件、705人が受講されました。

■ しゅうなん出前トーク（[分野]環境・水道中の環境関連テーマ）実施状況

	講座名	件数	人数(人)
1	ごみの分け方・出し方	10	617
2	ごみの分け方・出し方(熊毛地区)	1	10
3	快適な水環境を守る「下水道」	1	78
	計	12	705

● 周南市環境基本計画における目標

項目	達成状況 (平成26年度)	目標 (平成26年度)
しゅうなん出前トーク (環境関連)の人数	705人	500人

② 周南市エコすごろく（改訂版）

周南市エコすごろく（改訂版）を平成19年度に作成しました。

小学生を中心に大人でも楽しみながら、地球温暖化防止の取組方法をわかりやすく学ぶことができるすごろくになりました。

このすごろくを活用し、「しゅうなん出前トーク」を実施しています。



【周南市エコすごろくゲーム】

周南市エコすごろく http://www.city.shunan.lg.jp/data/open/cnt/3/8396/1/ecosugoroku2_1.pdf

③周南市版フィフティ・フィフティ

市内の小・中学校で環境教育の一環として学校が省エネルギーに取り組み、平成23年度の電気使用量よりも5%の削減を目標にしています。

■周南市版フィフティ・フィフティ実績

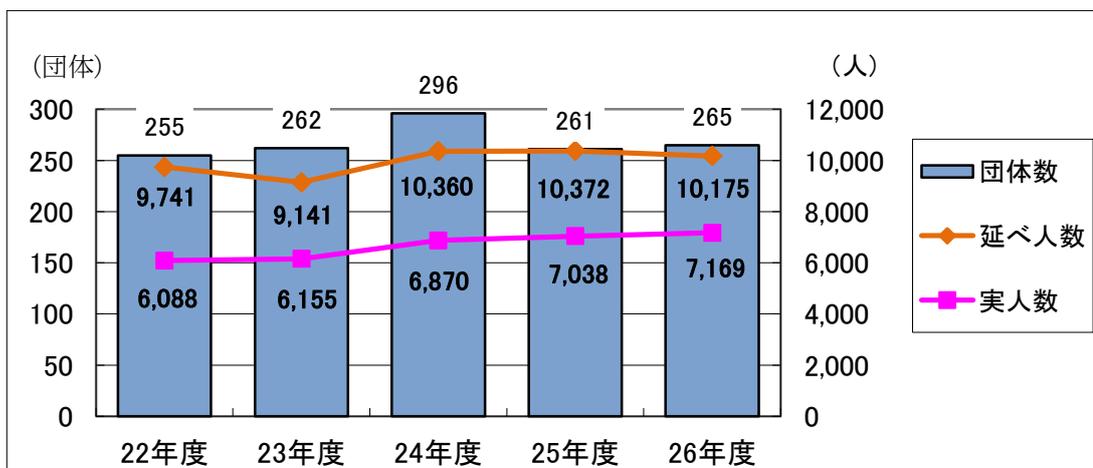
	平成23年度電気使用量		削減目標 (23年度実績の5%)	平成26年度電気使用量		実績	
	学校数	46校分の使用量		学校数	46校分の使用量	達成校	削減量
小学校	30	1,866,127 kW	93,306 kW	30	1,804,540 kW	8	61,587 kW
中学校	16	1,256,329 kW	62,816 kW	16	1,239,152 kW	7	17,177 kW
計	46	3,122,456 kW	156,123 kW	46	3,043,692 kW	15	78,764 kW

④大田原自然の家

大田原自然の家は、青少年が自然に親しみながら、集団宿泊生活等を通じて、情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練する中で、青少年の健全育成を図る社会教育施設です。素朴な田舎体験や自然とのふれあいを求める皆さまには最適です。

子どもから家族、一般、指導者を対象にさまざまな事業を実施し、平成26年度は265団体、延べ10,175人の参加がありました。

■大田原自然の家の利用状況



⑤ツルの里案内人

特定非営利活動法人ナベヅル環境保護協会は、地域住民を中心にツルの里案内人（ボランティアガイド）を設け、ツルの見学者に対し、野鶴監視所や敷地内でツルの生態解説などを行っています。平成26年度は11月から3月の間、延べ45日間活動されました。

⑥エコツアーリズム

地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を伝えるエコツアーリズムは平成26年度に市内で99回実施されました。今後も引き続きエコツアーリズムを推進し、環境保全の意識の醸成を目指します。

●周南市環境基本計画における目標

項 目	達成状況 (平成 26 年度)	目 標 (平成 26 年度)
エコツアー実施回数	99 回	120 回

⑦樹木観察会

西緑地の樹木見本林や万葉の森を活用し、多くの市民が自然とふれあい、環境について学習することを目的に、樹木観察会を開催しました。6月に開催し、27人の市民の参加がありました。

⑧水の教室

6月の水道週間を中心に、小学4年生の児童と保護者を対象とした環境学習事業で、飲み水ができるまでの工程と使用後の下水処理の工程を通じて、地球規模で行われている水循環の輪の中に私たちの生活が深く関わっていることを学習し、水を大切に使うこと、水を汚さないことが健全な水環境の継続につながることを啓発しました。

平成26年度は8校、523人の参加がありました。



【水の教室】

⑨ペガサス・エコフェスタ in 環境館

◆平成26年8月8日、リサイクルプラザ「ペガサス」の中の環境館において、「竹水鉄砲工作」、「竹笛・バードコール作り」、の各教室や、バックヤードツアー、自転車の展示販売（リユース品）、パッカー車・あき缶プレスカー展示、中古家具などの無料抽選会、ペガサス紹介ビデオ上映などを実施し、180の方が来館されました。

◆平成27年1月31日、「廃木材で本立て」、「染色パルプで絵を紙すき」、「草木染体験とプレスレット工作」の各教室や、リユース品抽選会、自転車の展示販売（リユース品）、パッカー車・あき缶プレスカー展示、ペガサス紹介ビデオ上映などを実施し、300の方が来館されました。



【8月8日エコフェスタの様子】

《6 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり》

⑩ごみ処理施設見学バスツアー

平成27年3月12日、家庭ごみのゆくえを見学する「ごみ処理施設見学バスツアー」を開催し、ごみ処理施設の見学を行いました。

リサイクルプラザ・ペガサス（バックヤードツアー）→徳山下松港新南陽N7地区最終処分場→東ソー株式会社南陽事業所→市不燃物処分場の見学に35の方が参加されました。



【ごみ処理施設見学バスツアー】

2 環境配慮行動の推進

目標：各主体の自主的かつ積極的な環境配慮行動の実践をめざします。

(1) 環境に配慮した行動の支援

① みどりのカーテン事業

みどりのカーテン設置講習会の開催や市民、事業者等が設置したみどりのカーテンの写真等を市ホームページで紹介しています。詳しくは P56 をご覧ください。

② エコチャレンジ～市民節電所事業

7～8 月分の電力使用量を前年度と比較して、削減できていれば応募でき、毎月選定により、環境に配慮した賞品を進呈する事業です。詳しくは P57 をご覧ください。

③ 生ごみ処理器・コンポスト容器への助成

生ごみ処理器・コンポスト容器の購入者に対し、購入費の助成を行うものです。詳しくは P68 をご覧ください。

(2) 環境保全団体の支援

① 資源物団体回収報奨金

資源物の回収をした団体に対し、報奨金を交付する制度です。詳しくは P68 をご覧ください。

● 周南市環境基本計画における目標

項 目	達成状況 (平成 26 年度)	目 標 (平成 26 年度)
資源物回収団体登録数	145 団体	140 団体

② 環境清掃里親制度

道路や公園などを年 6 回以上清掃される団体へ支援する制度です。詳しくは P73 をご覧ください。

● 周南市環境基本計画における目標

項 目	達成状況 (平成 26 年度)	目 標 (平成 26 年度)
クリーンネットワーク登録団体数	58 団体	100 団体

③公園愛護会

公園が市民の憩いの場、また楽しい遊び場となるよう、清掃や児童の見守りを行う団体を支援する制度です。平成26年度には135団体が結成されました。

●周南市まちづくり総合計画における目標

項 目	達成状況 (平成26年度)	目 標 (平成26年度)
公園愛護会結成団体数	135 団体	142 団体

(3)環境に配慮した事業活動の推進

①環境に配慮した事業（イベント）の開催

普及啓発の場として有効なイベントでのごみの減量化や環境美化など、環境への配慮のための指針を示し、より環境負荷低減活動を推進するため、平成17年8月に「イベントを環境配慮するためのガイドライン」を作成しました。

②周南市EMSの取り組み

◆環境目的・目標及び実施計画に関する取組状況

周南市EMSでは、環境目標及び環境実施計画を設定し、評価しています。

◆環境内部監査

平成26年度は、EMSの規格要求事項等の適合確認を監査方針とし、22の課などを対象に内部監査を実施しました。

結果は、改善事項13件、優れた取組み56件でした。

◆周南市EMS優秀活動賞

内部監査で、優れた取組み等、他の模範となる取組みを検出し、「周南市EMS優秀活動賞」として表彰しています。平成26年度は次の3件を表彰しました。

■周南市EMS優秀活動賞 表彰状況

対象組織	表彰内容
中央図書館	ブックリサイクル会の開催
福川保育園	園での活動における環境負荷の軽減運動
今宿幼稚園	園での活動における環境負荷の軽減運動

3 環境美化活動の推進

目標：地域の環境美化活動を推進し、潤いと安らぎのある地域環境の創出を目指します。

(1) 環境美化意識の浸透

① 路上喫煙、動物へのえさやりの禁止

本市では、「周南市空き缶等のポイ捨て禁止条例」を改正し、「周南市空き缶等のポイ捨てその他の迷惑行為禁止条例」として平成23年7月に施行しました。

空き缶等のポイ捨て禁止、飼い犬のふん害防止等に加え指定区域内での路上喫煙、自ら所有・占有しない動物へのえさやり、落書き等を禁止しています。

指定区域内での路上喫煙の禁止行為の違反者には過料処分を行っています。



【指定区域内の喫煙場所】

(2) 環境美化活動の支援

① 環境清掃里親制度登録団体への活動の支援

㊦ ゴミ袋の支給 ㊧ 里親名を記した表示板の設置 ㊨ ゴミの回収
詳しくは、P73 をご覧ください

② 自治会清掃への活動の支援

㊦ ゴミ袋の支給 ㊩ ゴミの回収

③ 公園愛護会への活動の支援

㊦ ゴミ袋の支給 ㊩ ゴミの回収 ㊪ 報償金の交付